

「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」

～ 新成長戦略実現に向けたステップ2 ～

(説明資料)

平成22年10月8日
内閣府

(注) 本資料は、「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」の説明用の資料として、内閣府の責任において便宜的に作成されるものであり、引用等については本文を参照ください。

< 目次 >

「新成長戦略実現に向けた3段構えの経済対策」の考え方	・・・ 1
「ステップ2 今後の動向を踏まえた機動的な対応」	・・・ 2
経済の現状	・・・ 3
<5つの柱>	
1. 雇用・人材育成	・・・ 6
2. 新成長戦略の推進・加速	・・・13
3. 子育て、医療・介護・福祉等	・・・19
4. 地域活性化、社会資本整備、中小企業対策等	・・・24
5. 規制・制度改革	・・・29
施策執行の進捗管理	・・・30
本対策の規模	・・・30
本対策の効果	・・・30

「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」の考え方

ステップ1

円高等に対する
緊急的な対応
(9月10日決定)

○円高等の景気下振れリスクに対応する



- ・予備費(9,179億円)を活用した即効性のある施策(雇用、投資、消費の基盤づくり、地域の防災対策)
- ・日本を元気にする規制改革100

(既に着手)

ステップ2

景気・雇用動向を踏まえた
機動的な対応

○景気を巡る環境は厳しさを増し、依然下振れリスクは強い



- デフレ脱却と景気回復に向けた動きを確かなものとするため、スピード感を重視して、補正予算を含む経済対策を策定
- ・補正予算により、経済の活性化や国民生活の安定・安心に真に資する施策を実施
 - ・財源を使わない景気対策として規制・制度改革を加速

ステップ3

平成23年度の対応
—新成長戦略の本格実施—

○新成長戦略の本格実施により、デフレ脱却に向けて、雇用を起点とした経済成長を目指す



- 予算編成における「元気な日本復活特別枠」の活用
- 雇用促進等のための企業減税
- 規制・制度改革の更なる推進

ステップ2 今後の動向を踏まえた機動的な対応

経済の現状

景気の先行き 悪化懸念の強まり

ステップ1決定以降も、
景気を巡る環境の厳しさが
増している。

- ・輸出はアジア向けを中心に鈍化
- ・生産は3ヶ月連続で減少
- ・企業の先行き景況感は悪化
- ・失業率は5%超で高止まり

景気回復の力が広がって
いない中で、景気を下ぶれ
させるリスク要因

- ・円高の長期化
- ・海外経済の減速

デフレ脱却や自立的回復の
実現が遠のく恐れ

スピード感をもった切れ目ない需要・雇用の創出と、 円高・デフレ状況への対応

3つの視点

・今後の需要減少懸念への備え、 マインド安定への働きかけ

➢ 今年末から年明け以降の景気・雇用の
悪化リスクに需要面から備える

・来年度予算実行への橋渡し

➢ 需要・雇用創出を着実に後押しし、新成長
戦略の本格実施につなげる

・新成長戦略の前倒し

➢ 将来を見据えた「国家戦略」の一環として
の対策。新成長戦略を大胆に加速。

為替

- ・引き続き、必要な時には為替介入を含め
断固たる措置を取る
- ・円高にはメリットもあり、これを最大限活用する

金融政策

- ・日本銀行に対しては、デフレ脱却が政府と日本
銀行の政策課題であるとの認識を共有し、引き
続き、政府と緊密な情報交換・連携を保ちつつ、
適切かつ機動的な金融政策の運営によって経
済を下支えするよう期待

5つの柱

経済の活性化や国民生活の安定・
安心に真に役立つ施策の実施

雇用・人材育成

- 「新卒者就活応援プログラム(仮称)」の実施
- 雇用調整助成金等の要件緩和
- 重点分野雇用創造事業の拡充

新成長戦略の推進・加速

- レアアース等天然資源確保の推進
- グリーン・ライフ・サイエンスの研究開発支援の加速
- インフラ/システム海外展開支援

子育て、医療・介護・福祉等

- 保育サービス等の基盤の整備
- 地域医療の再生と医療機関の機能強化
- 介護サービスの充実

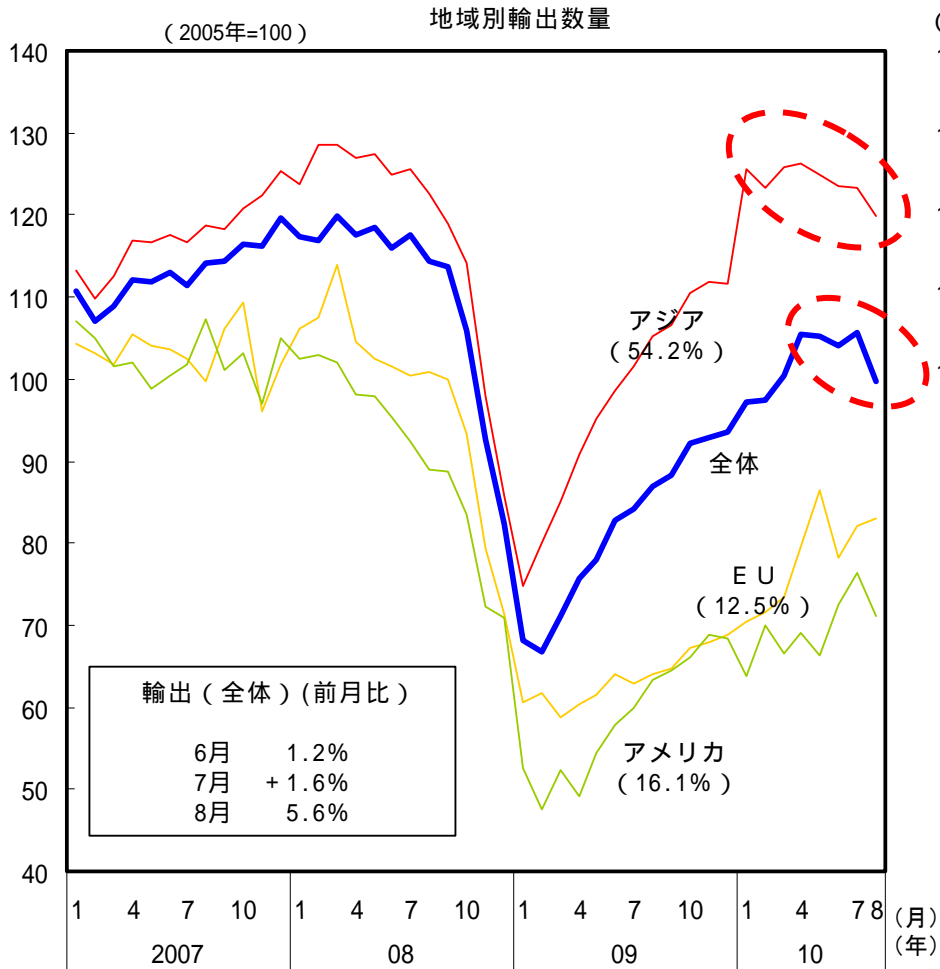
地域活性化、社会資本整備、 中小企業対策等

- 住宅・学校等の耐震化
- 地域活性化交付金(仮称)の創設
- 地域経済の元気復活に資するインフラ整備

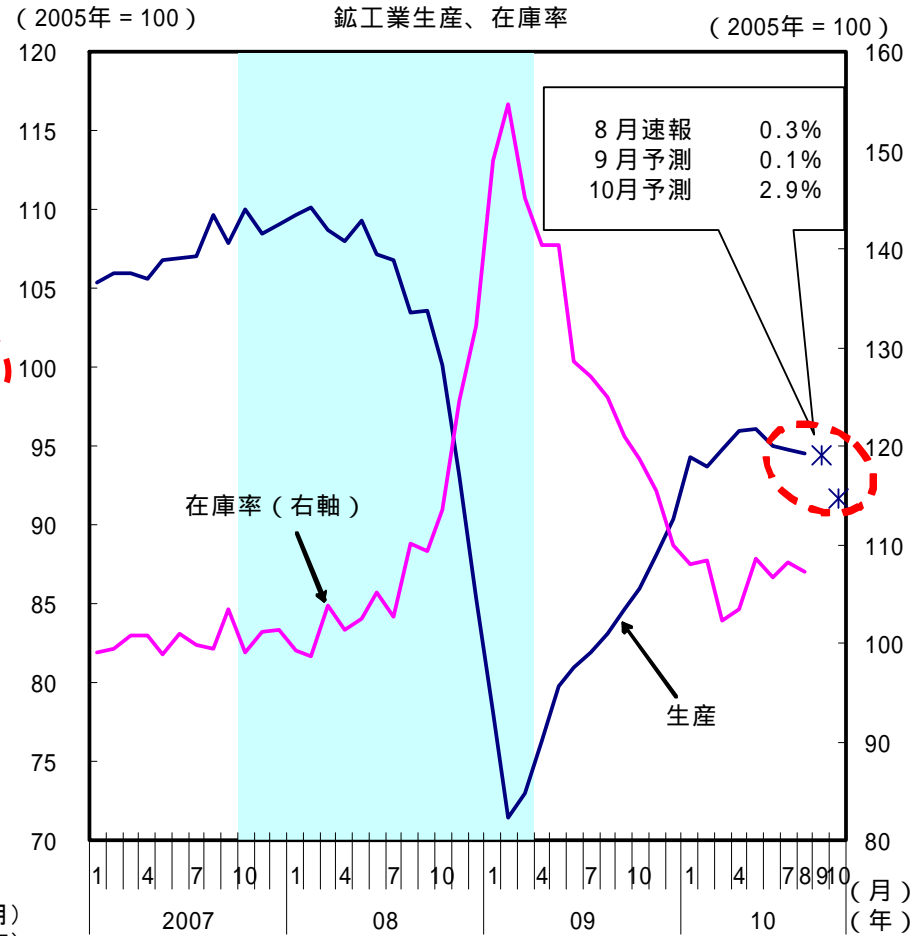
規制・制度改革

経済の現状

○輸出はアジア向けを中心に鈍化



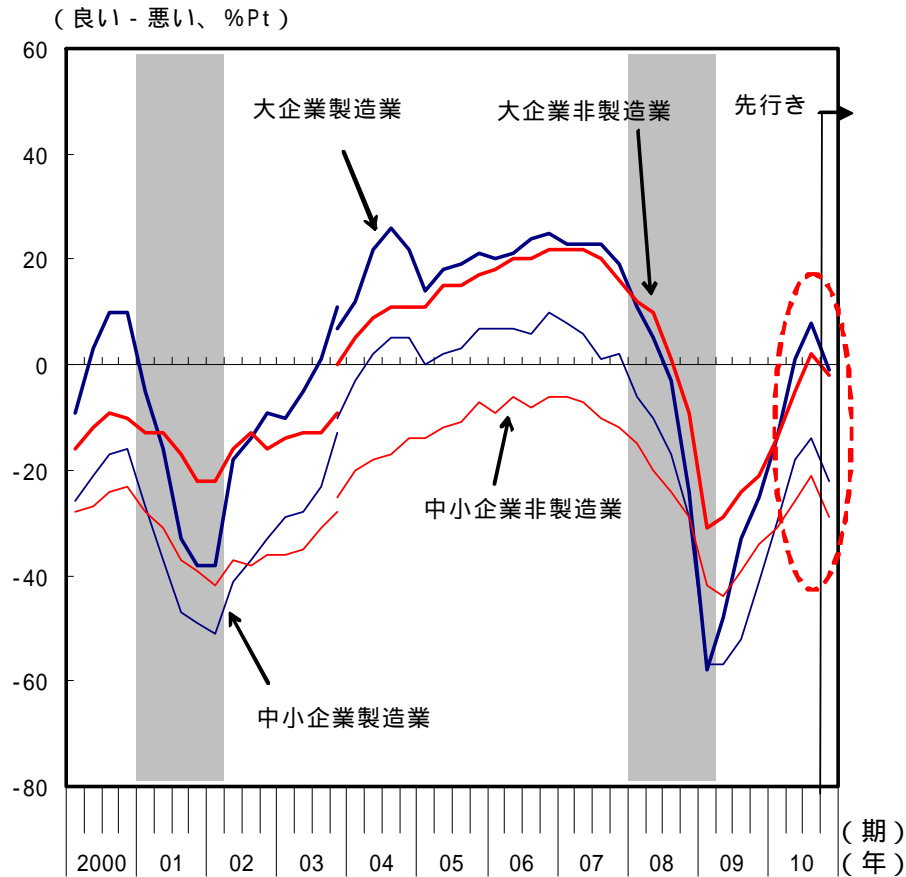
○生産は3ヶ月連続で減少、予測も厳しい



- (備考) 左図: 1. 財務省「貿易統計」により作成。
 2. 季節調整値。括弧内は2009年の金額ウェイト。
 右図: 1. 経済産業省「鋳工業指数」により作成。季節調整値。
 2. 9月、10月の値は製造工業予測調査による。

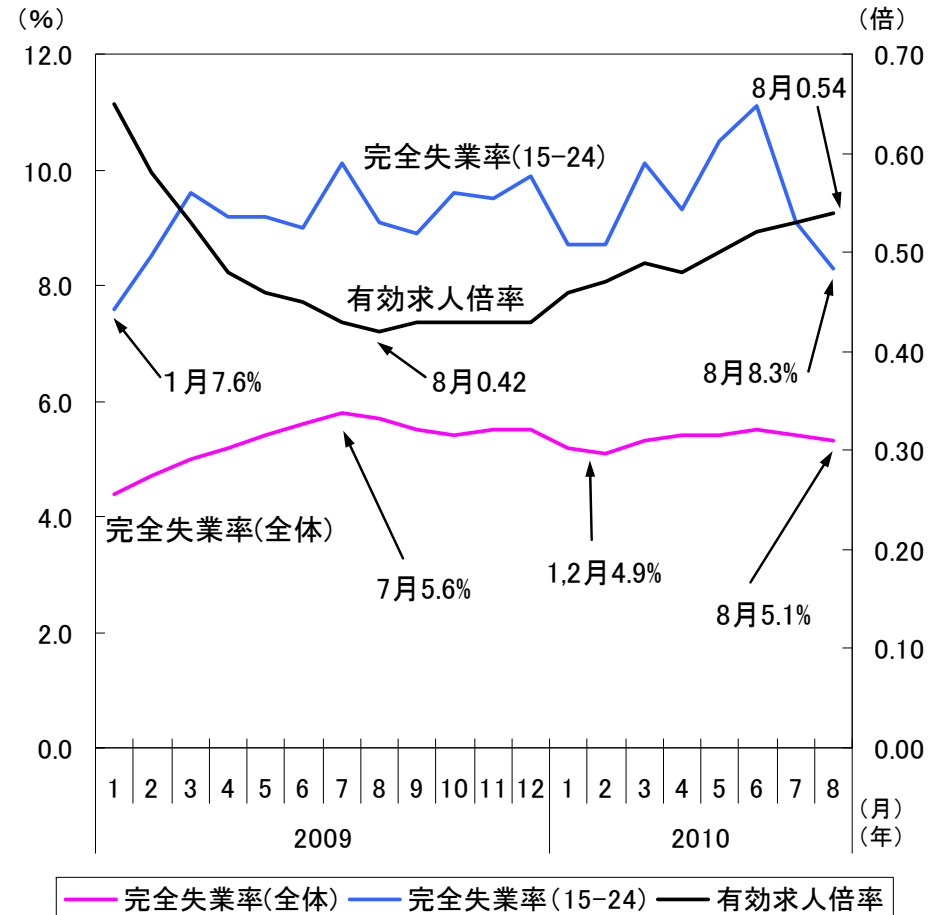
経済の現状

○企業の先行き景況感は悪化



(備考) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。

○失業率は5%超で高止まり

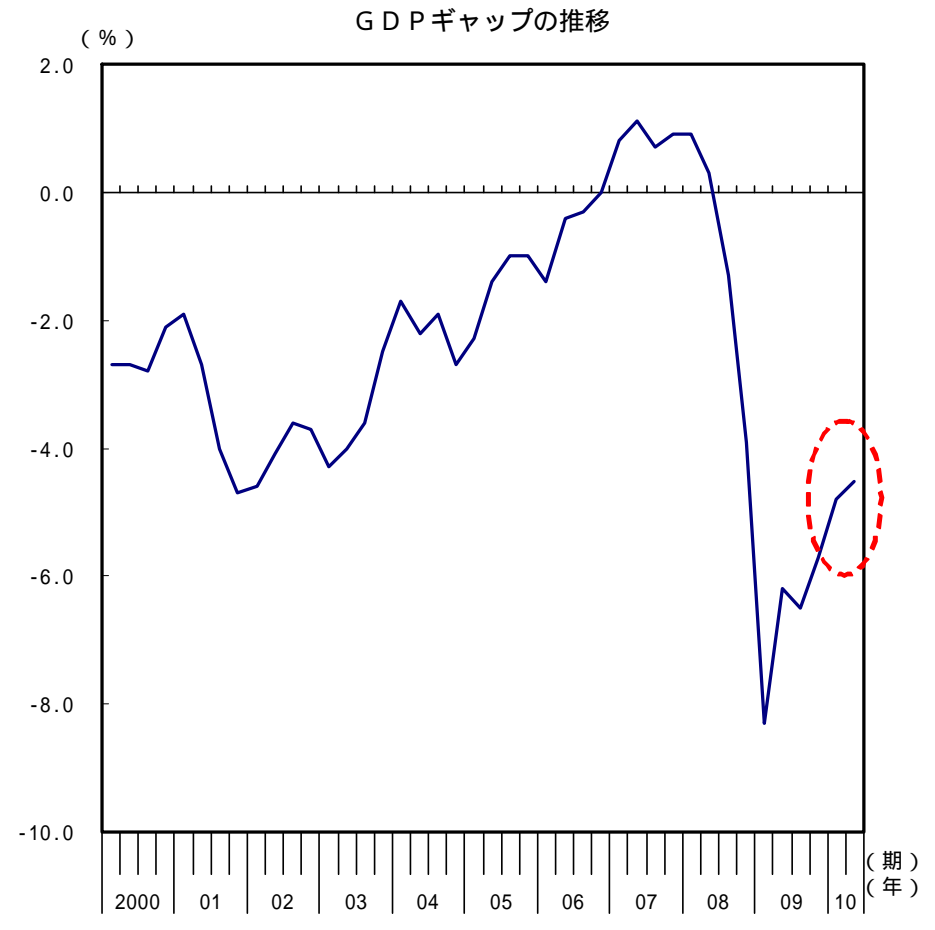
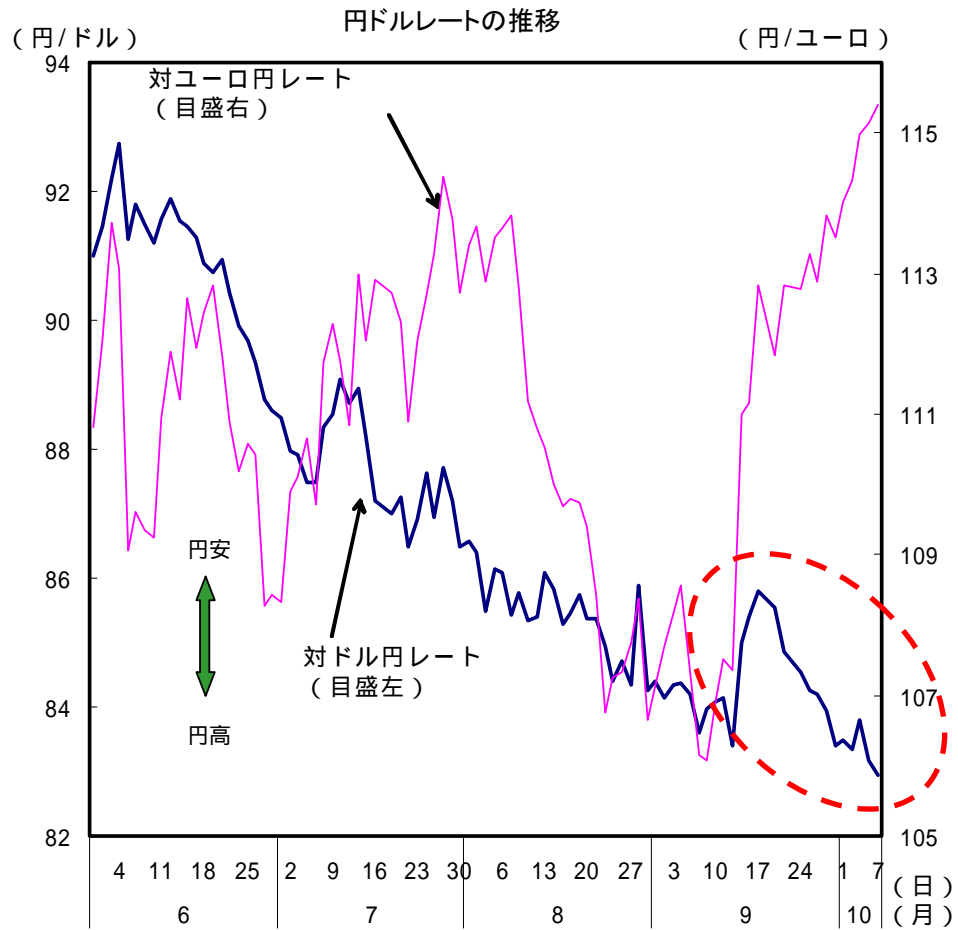


(備考) 総務省「労働力調査」により作成。

経済の現状

○為替レートは依然厳しい円高水準で推移

○GDPギャップは依然として大きい



(備考) 内閣府推計値。
 $GDP \text{ギャップ} = (\text{現実のGDP} - \text{潜在GDP}) \div \text{潜在GDP}$ 。
 GDPギャップは定義や前提となるデータ、推計方法によって数値が大きく異なることから、符号を含め幅をもってみる必要がある。